

# 世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

産業界・官界のトップランナーがオムニバス形式で講義をします。

今、企業でどんな人材が求められているのか？

学生に何を身に付けてほしいのか？

土曜の午後を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。



総合科目 I・III



# 2018

大学院共通科目

# 世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ ディスカッションコース

産業界のトップランナーが、大学院生を対象にディスカッションを通して

社会人の基礎力として、グローバルに考え行動するために重要な

さまざまな能力を育成します。



# JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済・環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在39業種約200社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。



JAPIC 会長  
**宗岡 正二**  
Shoji Muneoka  
新日鐵住金(株) 代表取締役会長

## 開設趣旨

いま世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT技術の進歩などにより、人材や情報、資金が国境を越えて行きかい、同時に国や都市・地域間の競争が激化しています。一方で少子高齢化や地球規模での環境問題、資源エネルギー問題など、世界を取り巻く様々なグローバルアジェンダに対処していくことも求められています。また、地方創成が大きな課題になる中、ローカル（地方）でも活躍することも求められています。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の修得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」(順不同)

・1226151「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義：社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養I」  
(総合科目として春学期開講)

・1G26031「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義：社会基礎学～グローバル人材に社会が求める教養」  
(総合科目Ⅲとして秋学期開講)

また、大学院生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

・01ZZ513「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる大学院アドバンスト・ディスカッションコース」  
(大学院共通科目として春学期開講)

・01ZZ515「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる大学院アドバンスト・ディスカッションコース」  
(大学院共通科目として秋学期開講)

### 【総合科目の開設目的】

総合科目I：初年次学生（1年次生）が新しい学修環境に適応して、自律的にキャリア形成を始めることを助けます。

総合科目Ⅲ：1・2年次における基礎、専門基礎教育と2・3年次における専門教育をベースに、社会で活躍する際に必要となる幅広い視野と学際的なものの見方、国際性及び社会適合性を涵養することを目的としています。

### 【大学院共通科目の開設目的】

大学院生が多様なキャリアパスや様々な社会的要求に対応できる柔軟性と選択性を身につけ、時代に即した社会の需要に対応できる「豊かで逞しい人間力」を強化することを目的として、「知識の教授のみに偏らない高度な大学院教育の実現」を基本方針に、高邁な意識や高い倫理観を醸成しつつ、さらに能力やスキルの向上に資する「大学院生の基盤能力の向上」を担保するために大学院共通科目を開設しています。

## 学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「グローバル化の中で日本は?」、「ローカルでの活躍とは?」について理解し、様々な地球規模の課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバル時代に果敢にチャレンジしローカルでも活躍できる人材を目指すことを期待します。





# グローバル化に対する筑波大学の取り組み トランスボーダー大学への挑戦



## 《国際性の日常化》

- 「エリア・コモンズ」
  - ・英語対応可能なグローバル・スタッフを各支援室に配置
- 職員向け語学研修の拡充、TOEIC等受験費補助
- 外国人との交流の場を設置
  - ・Global Chat 〈English〉〈Culture〉〈Multilingual〉を開催し、教職員・学生（外国人・日本人）が自由におしゃべり
- 教職員のグローバル化
  - ・「英語ができる」ではなく、「グローバル化」の観点でものを考える力。

## 《グローバル人材育成》

- 学生海外渡航支援
  - ・「はばたけ! 筑大生」
- グローバルヴィレッジの設置
  - ・筑波大学の学生宿舎には元々「留学生専用宿舎はなく」、日本人学生との混住型。平成29年度、更なるグローバル化に向けルームシェア型の学生宿舎を設置。
- グローバル人材育成推進事業／大学の世界展開力強化事業に基づく人材育成【採択事業】
  - ・GGJ (H24)
  - ・世界展開力: 欧州(H23), アセアン(H25), ロシア (H26), 中南米 (H27)
  - ・スーパーグローバル大学創成事業 (H26)
- 2学期6モジュール制
  - ・Cモジュール (7月中旬～8月上旬) を活用した短期海外留学



## 《海外大学との連携》

- Campus-in-Campus
- 海外オフィス設置 (12ヶ国・地域)
- ジョイント・ディグリー／デュアル・ディグリー
- 大学間協定 (H30.3.1 現在)
  - ・68カ国・地域及び国際連合大学と大学間交流151協定, 部局間交流212協定, 合計363協定
- 語学研修
  - ・グローバル・コミュニケーション教育センター (CEGLOC) 実施
- ➔ 英: オックスフォード大学、独: バイロイト大学、露: サンクトペテルブルク大学等

## 《入試改革》

- IB特別入試
- 海外教育プログラム特別入試
- グローバル入試

## 《研究成果の情報発信》

- Tsukuba Global Science Week (TGSW)
  - 筑波大学ならびに筑波研究学園都市における最新研究のショーケース。
  - 毎年9月に、世界30か国、100を超える研究機関から脳科学から芸術まで様々な領域の研究者を招いて開催。

## 《産学連携》

- つくばグローバル・イノベーション推進機構 (つくば国際戦略総合特区等)
- JAPIC (Japan Project-Industry Council) との連携
  - ・連携講座の開設

## 《海外同窓会》

- Tsukuba Alumni Network (T-Net)
  - ・主に海外に居住する筑波大学同窓生のネットワーク強化を目的として開設された「つながりの場 (プラットフォーム)」



春AB 1226151

# 社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ

オーガナイザー教員 ● 野村 港二 (生命環境系・教授)

第1回  
**4/21**  
【土】  
13:00~16:40

## 【導入講義Ⅰ】筑波大学におけるグローバル人材育成方針

**徳永 保** *Tamotsu Tokunaga*

筑波大学 特命教授

**プロフィール** 1976年、旧文部省入省。文部科学省研究振興局長、高等教育局長などを歴任。2010年国立教育政策研究所長。2012年から筑波大学教授。1991年-1992年米国連邦政府・国立科学財団(NSF)に派遣。高等教育局長在任中にグローバル30(大学国際化拠点整備事業)などを立ち上げた。主な著書に『グローバル人材育成のための大学評価指標』(2011)などがある。

**坪内 孝司** *Takashi Tsubouchi*

筑波大学教員 システム情報系教授／教育企画室長

**プロフィール** 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。ロボット工学、特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が専門。本リレー講義には教育企画室長として関わっている。神奈川県出身。主な著書に『はじめてのロボット創造設計』をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味：古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダー演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

## 【導入講義Ⅱ】連続リレー講義の意味・意義と狙い

**三浦 潔司** *Kiyoshi Miura*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

**プロフィール** 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。



### 【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

### 【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

**吉村 麻央** *Mao Yoshimura*

パネリスト

石破茂衆議院議員 政策担当秘書

**プロフィール** 早稲田大学在学中、米コロンビア大学短期留学。政策担当秘書資格試験に合格。多くのアルバイトを経験し、卒業後、石破茂事務所勤務、在職21年。国務大臣防衛庁長官秘書官などを務め、公務にて海外出張を多数経験。陸上自衛隊予備自衛官として15年間登録(一昨年退職)。尊敬する人(?)はヨータ。

**中村 宏之** *Hiroyuki Nakamura*

パネリスト

(株)読売新聞大阪本社 編集委員

**プロフィール** 1991年、読売新聞東京本社入社。経済部、政治部、ロンドン特派員、ハーバード大学国際問題研究所研究員、経済部デスク、調査研究本部主任研究員、メディア局編集部次長を経て、2017年11月より読売新聞大阪本社編集委員。主な著書・共著に『御社の寿命』、『世界を切り拓くビジネス・ローヤー』(中央公論新社)、『ドキュメント 金融庁vs.地銀』(光文社新書)など。

**坪内 孝司** *Takashi Tsubouchi*

パネリスト

筑波大学教員 システム情報系教授／教育企画室長

**プロフィール** 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。ロボット工学、特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が専門。本リレー講義には教育企画室長として関わっている。神奈川県出身。主な著書に『はじめてのロボット創造設計』をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味：古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダー演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

**徳永 保** *Tamotsu Tokunaga*

パネリスト

筑波大学 特命教授

**プロフィール** 1976年、旧文部省入省。文部科学省研究振興局長、高等教育局長などを歴任。2010年国立教育政策研究所長。2012年から筑波大学教授。1991年-1992年米国連邦政府・国立科学財団(NSF)に派遣。高等教育局長在任中にグローバル30(大学国際化拠点整備事業)などを立ち上げた。主な著書に『グローバル人材育成のための大学評価指標』(2011)などがある。

**三浦 潔司** *Kiyoshi Miura*

パネリスト

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

**プロフィール** 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

**野村 港二** *Koji Nomura*

コーディネーター

筑波大学教員 生命環境系教授／大学院共通科目委員会委員長

**プロフィール** 1988年秋田県立農業短期大学講師、1991年より筑波大学で教えている。植物生理学、特に分化全能性が専門。本リレー講義には大学院共通科目委員長として関わっている。東京都出身。趣味：サボテンづくり、自転車の組み立て、大工仕事。

**講義概要** グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。





## グローバル化とは何か～ Society 5.0, SDGs, そして統合イノベーション戦略を事例に

進藤 秀夫 *Hideo Shindo*

内閣府 大臣官房審議官 (科学技術・イノベーション担当)

**プロフィール** 1986年通商産業省(現・経済産業省)入省。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構・ワシントン事務所長、経済産業省・産業再生課長、同省・紙業生活文化用品課長、同省・大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所・企画本部副本部長、東北大学・理事(産学連携担当)などを経て、2016年7月より現職。神奈川県出身。趣味:よく食べ眠り、そして歩くこと。

**講義概要** グローバル化とは何かについて、Society 5.0, SDGs, そして策定途上の統合イノベーション戦略を事例に考察する。グローバル化・グローバル人材とは何かについての基本的理解とともに、イノベーションの重要性、将来社会像としてのSociety 5.0、そしてグローバルな目線でイノベーション戦略を立てることの重要性と困難さについての理解を深めることを目的とする。

## 地球温暖化・エネルギー問題に関して

丸川 裕之 *Hiroki Marukawa*

(一社)日本プロジェクト産業協議会 専務理事

**プロフィール** 1981年、鉄鋼製造メーカーである新日鉄(現・新日鉄住金)入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

**講義概要** 環境学は、自然科学だけでなく政治・経済・経営・社会・倫理学等、極めて学際的な分野である。とりわけ地球温暖化問題はその色彩が強い。1990年代から今日、更に2030年、2050年を念頭において、今後のCOPの国際交渉と日本国内の温暖化・エネルギー問題を、皆さんと一緒に考えてみたい。

第2回

5/19  
[土]

14:00~17:00

## 途上国・新興国に対する日本の開発協力～地方発の双方向国際貢献の可能性

江島 真也 *Shinya Ejima*

(独)国際協力機構(JICA) 理事

**プロフィール** 1983年海外経済協力基金(OECF)採用。組織改編に伴い国際協力銀行(JBIC)を経て2008年10月よりJICA勤務。2016年10月より現職。この間、東南アジアや南アジアの開発途上国への政府開発援助(ODA)、とりわけ有償資金協力(円借款)を通じたインフラ整備に従事。在外経験はタイ、フィリピン、スリランカ、インドと通算12年。最近の趣味はインド時代に始めたポリウッドダンス。

**講義概要** 世紀の変わり目前後に日本の途上国援助が10年以上にわたり世界一だったことをどれだけの方が記憶しているだろう。最近の世界4～5位という実績はわが国の国力低下の反映なのか、途上国が援助を必要となくなったのか、はたまた新興国の援助が日本にとって代わったのか…開始から60年以上になる日本の政府開発援助(ODA)を振り返りつつ、わが国に期待される開発途上国・新興国への支援のあり方や地方発の双方向の国際貢献の可能性について、途上国の実情を踏まえながら考える。

## 人口減少先進地域における政策展開

和泉 晶裕 *Akihiro Izumi*

国土交通省 北海道開発局長

**プロフィール** 1986年北海道開発庁(現国土交通省)入庁。国土庁にて首都移転、業務核都市などを担当、阪神淡路大震災担当大臣特命室にて復旧を担当、関東地方整備局横浜国道事務所長、国土交通省北海道局地政課長など主に道路政策担当部署を経て、2017年7月より現職。第8期北海道総合開発計画(平成28年閣議決定)に基づく河川、道路、港湾、農業の整備や観光や物流の推進施策を実施。

**講義概要** 全国より10年以上早く人口減少が始まった北海道において、「食」と「観光」を戦略的産業とし「世界の北海道」を目指すための政策展開とその原動力となる地域住民との協働施策「シーニックバイウェイ北海道」の2001年の立ち上げから今日までの取り組みを紹介する。

第3回

6/2  
[土]

13:30~16:30

## 総合商社のビジネスモデルと人材育成

島崎 豊 *Yutaka Shimazaki*

丸紅(株) 執行役員 秘書部長 兼 広報部長

**プロフィール** 1982年丸紅(株)入社。海外におけるインフラ施設の建設および投資事業に従事し、特に上下水等の水ビジネスを先かけて推進。経営トップの財界・社外活動の補佐業務や社業の広報活動に従事。日本創生委員。慶応義塾リーディング大学院特任教授。日本秘書協会理事。東京都出身。学生時代:体育会グランドホッケー部所属。趣味:スイミング、ゴルフ。

**講義概要** 総合商社がグローバルに展開している「トレード」と「事業投資・経営」と、それらを支える新しい人材育成について考える。

## 日本経済を読み解く「鍵」

岡部 央 *Hiroshi Okabe*

(一社)共同通信社大阪支社 支社長

**プロフィール** 1983年に共同通信に入社し、日銀、財務省、首相官邸、経済産業省、外務省などで経済政策を担当。1997年から3年間、ワシントン特派員として、アジア金融危機などの取材を経験した。経済部長、総務局長兼人事労務部長、編集局次長を経て、2017年6月より大阪支社長を務めている。日本の「今」を、海外に情報発信する英文雑誌の編集委員も務めた。京都市出身。

**講義概要** 経済の動きを知ることは、社会で活躍していくために不可欠な教養の一つです。日々の経済ニュースを、どのように読み、理解していけばいいのか。最新の経済動向を踏まえながら、日本経済を読み解く「鍵」を解説します。

第4回

6/16  
[土]

13:30~16:30

## 国際関係の新たな変容相と産業界の対応

— 国内への影響をどう捉え創造的対処を試みるか —

太田 誠 *Makoto Ota*

21世紀政策研究所 事務局長

**プロフィール** 1986年 経団連事務局入局。国際経済本部調査役(北東アジア、ロシア担当)、産業政策本部次長(産業政策、国際物流政策担当)、国際協力本部副本部長(韓国担当)を経て、2012年より現職。1991年～95年ソウル駐在。2014年 博士号(学術/東北大学)取得。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。

**講義概要** 日本の国際プレゼンスを将来に亘って維持・向上させるためには何が必要か。本講では、産業界における政策実務と学術との接点領域から、企業の創意が国力の主要な構成要素であることを再確認しつつ、欧州等で見られる構造変化や新興国による影響力の浸透など一見迂遠に思われる国際社会の変容が、産業活動や国内の諸問題に直結する事態を捉えそのメカニズムを考察する。あわせて対処の可能性についても検討する。

## 第4次産業革命とロボット・ドローン

～ connected industries の実現による society5.0 の確立に向けて～

片岡 隆一 *Ryuichi Kataoka*

経済産業省 製造産業局 産業機械課長

**プロフィール** 1993年通商産業省入省。通商白書2010の執筆責任者、マクロ経済政策の司令塔事務局(経済対策・経済見通し、内閣府に外向)、日本経済再生に向けた成長戦略(内閣官房日本経済再生総合事務局に外向)、マクロ経済の調査分析(経済産業政策局調査課長)、財政健全化等(財務省主計局参事官に外向)を経て、2016年6月より現職。

**講義概要** 日本は、世界最速で少子高齢化が進展する一方で、世界の成長センター・アジアに位置し、中国とも近い。日本の再生に向けて、失われた20年とされるデフレから脱却し、地方創生・経済再生と財政健全化の両立を同時に達成するためには、国内・対外の双方で不断なイノベーションが求められる。経済財政、少子高齢化・地方創生、ITの進展・グローバルイノベーションなど、わが国を取り巻く構造的な課題と必要な取組について考察する。

第5回

6/23  
[土]

13:30~16:30

秋AB 1G26031

# 社会基礎学～グローバル人材に社会が求める教養

オーガナイザー教員 ● 五十嵐 浩也 (芸術系・教授、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長)

第1回  
**10/6**  
【土】  
13:30~16:30

## 【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い

**三浦 潔司** *Kiyoshi Miura*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

**プロフィール** 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

## 【パネルディスカッション】【第1部】 グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

## 【パネルディスカッション】【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

**石川 貴之** *Takayuki Ishikawa*

【パネリスト】

(株)日建設計総合研究所 理事 上席研究員

**プロフィール** 1987年日建設計入社。京セラドーム周辺、なんばパークス開発等の大規模都市開発業務に従事。2008年より(株)日建設計総合研究所にて東アジアを中心に低炭素都市業務に従事し、近年は官民連携の海外展開支援の仕事を中心にロシアにおけるスマートシティ計画にも携わっている。山口県出身。学生時代はバスケットボール一色。現在は週一のジム通いで体型をかるうじて維持。

**中原 淳** *Jyun Nakahara*

【パネリスト】

首都高速道路(株) 取締役常務執行役員

**プロフィール** 1987年東京大学法学部卒、建設省入省。ゼネコンの経営再生や道路公団等の民営化等を担当する一方、外交官としてニューヨークで米大統領選挙の分析、静岡県でまちづくりに携わる。その後、国土交通省 大臣秘書官、PFI/PPPを担当する官民連携政策課長、インフラ老朽化等を担当する参事官等、道路局総務課長を経て、現在、首都高速道路(株)取締役常務執行役員に就任。趣味は、ヴァイオリン演奏、音楽鑑賞、登山、ワインなど。

**五十嵐 浩也** *Hiroya Igarashi*

【コーディネーター】

筑波大学教員(芸術系・教授)/ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長

**プロフィール** GKインタストリアル・デザイン研究所、富士ゼロックスデザイン研究所を経て、筑波技術短期大学聴覚部デザイン学科、そのうち現職。

**講義概要** グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。



**平石 和昭** *Kazuaki Hiraishi*

【パネリスト】

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株) 副社長

**プロフィール** 1984年(株)三菱総合研究所入社。運輸政策研究所やアジアパイプライン研究会への出向等を経て2016年10月より現職。この間、新幹線等大規模交通インフラの需要予測・経済効果分析、北東アジア天然ガスパイプラインの企画・構想立案、社会インフラ海外展開等のプロジェクトに参画。専門は、土木計画、交通経済、エネルギー経済。広島県出身。趣味：ゴルフ、テニス、音楽鑑賞、散歩。

**三浦 潔司** *Kiyoshi Miura*

【パネリスト】

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

**プロフィール** 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

## 第一次産業を通じた成長戦略

**末松 広行** *Hiroyuki Suematsu*

経済産業省 産業技術環境局長

**プロフィール** 1983年農林水産省入省。農林水産大臣秘書官、総理官邸内閣参事官、食料安全保障課長、林野庁林政部長、関東農政局長、農村振興局長などを歴任し、2016年6月より現職。埼玉県出身。著書『解説 食品リサイクル法』大成出版社、『食料自給率のなぜ』扶桑社新書、『逐条解説 公共建築物等木材利用促進法』大成出版社。

**講義概要** 世界の価値の多様化・高度化が進む中で日本の地域資源を活用した経済活動は地域と日本全体の成長に多く貢献する可能性を持っている。

## さいはての地域経営

**泉谷 満寿裕** *Masuhiko Izumiya*

珠洲市長

**プロフィール** 1964年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1987年野村證券株式会社に入社。1995年4月に退社し、家業の泉谷菓子舗を継ぐべく珠洲市に帰る。青年会議所やNPOを通じ、地域おこし活動に傾注。2000年の珠洲市長選挙に立候補するも落選。その後、NPOすず交流ビューロー理事長、珠洲生必株式会社社長などを経て2006年の珠洲市長選挙に初当選。現在3期目。

**講義概要** 石川県能登半島の先端に位置する珠洲市。昭和29年の市政発足時には人口が約3万8千人だったが、現在は約1万5千人まで減少。少子高齢化と人口減少が著しく進む中、移住・定住の促進に向けて、地域のあらゆる資源を活かし市民と行政がとにも取り組む「地域経営」を推し進めてきた。さらに、珠洲市の魅力を高めるために、昨年秋に「奥能登国際芸術祭」を開催。地方創生に向けた具体的な取り組みから、自治体行政の現状を考える。

第2回  
**10/13**  
【土】  
13:30~16:30



## 日本外交の現状と課題

森 健良 *Takeo Mori*

外務省 外務審議官

**プロフィール** 1983年外務省入省、在ドイツ日本国大使館参事官、国際法局条約課長、外務大臣秘書官、北米局北米第一課長、総合外交政策局安全保障政策課長、総合外交政策局総務課長、在アメリカ合衆国日本大使館公使、経済外交担当大使、北米局長などを歴任し、2018年1月より現職。東京都出身。趣味：ゴルフ、テニス。

**講義概要** 中国が台頭し、米国やヨーロッパの政治が大きく変動する中で、我が国の外交が直面する課題について紹介する。

## 企業経営の現状・課題と戦略

右田 彰雄 *Akio Migita*

新日鐵住金(株) 常務執行役員 人事労政部長

**プロフィール** 1984年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。本社および複数製鉄所において主に人事・労働・外注管理等を担当後、2009年プリキ営業部長、2011年薄板営業部長を経て、2015年人事労政部長、2017年常務執行役員(現職)。他、(公社)東京労働基準協会連合会 理事、(一財)企業活力研究所 雇用・人材開発委員会委員長等を兼務。

**講義概要** 本講義では、下記を中心に紹介し、日本のものづくりが目指す成長戦略について考察してみたい。①「鉄」という素材の多様な特性・魅力②オイルショック・プラザ合意以降の超円高・リーマンショックなどの幾つもの危機を日本の鉄鋼業が如何にして乗り越えてきたかの事例③今後想定される日本鉄鋼業を取り巻くグローバルイズムへの対応・CO2問題・少子高齢化等の課題への取組み

第3回

10/27  
[土]

13:30~16:30

## サービス産業等の生産性向上について

守山 宏道 *Hiromichi Moriyama*

経済産業省 サービス政策課長

**プロフィール** 京都府生まれ。東京大学法学部卒業、1995年通商産業省入省。2006年コロンビア大学国際公共政策大学院卒業(公共経営学修士)、外務省OECD日本政府代表部一等書記官、中小企業庁国際室長、資源エネルギー庁国際エネルギー戦略室長、内閣府宇宙戦略室参事官を経て、2017年より経済産業省サービス政策課長(現職)。

**講義概要** 我が国経済は、世界経済の活力の積極的な取り込み、少子高齢化や第4次産業革命への対応等を図りつつ、安定的成長を現実にしていくことが課題。特に、人手不足問題が顕著になっている中、働き方改革も実現していくためには、我が国産業の生産性の向上が不可欠。政府としては、平成30年度から3年間を政策集中期間として、生産性の向上に取り組んでいる。本講義では、その具体的取り組みの背景や方向性について扱う。

## 日本を取り巻く安全保障環境と防衛政策

市川 道夫 *Michio Ichikawa*

防衛省 大臣官房 広報課長

**プロフィール** 1993年防衛庁入庁。防衛政策局防衛政策課研究班長、防衛政策局戦略企画室総括班長、運用企画局国際協力課総括班長、大臣官房会計課企画調整官、大臣官房文書課企画調整官、蒙国防大学留学、九州防衛局企画部長を経て、昨年8月より現職。山梨県出身。

**講義概要** 今、日本を取り巻く安全保障環境は、戦後、最も厳しいと言っても過言ではありません。北朝鮮による核・ミサイル開発や度重なる兆発的な言動といった朝鮮半島情勢、軍事力の近代化を急速に進める中国の動向といった日本周辺の情勢を解説しつつ、こうした中で、日本を防衛するために必要な政策は何かについて説明します。今、日本周辺で何が起きており、日本はどうすべきかを考える、一つのきっかけにしてもらえたらと思います。

第4回

11/24  
[土]

13:30~16:30

## 地方自治の重要性とは何か?

森 民夫 *Tamio Mori*

前全国市長会 会長/前長岡市長

**プロフィール** 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。

**講義概要** グローバルに活躍できる人材とは、同時に現場の実態等のローカルな視点を併せ持つ人材である。国と地方の関係も同様であり、人口減少の進行、インフラの老朽化、頻発する自然災害等の諸課題に適切に対応するためには、国と地方との協力関係が必要不可欠である。この視点から長岡市の現場に即した政策、「子育ての駅」や「アオーレ長岡」等のユニークな政策について解説し、地方自治の重要性について具体的に考える。

## 【パネルディスカッション】我が国が直面する構造改革と社会資本整備

森 民夫 *Tamio Mori*

前全国市長会 会長/前長岡市長

パネリスト

**プロフィール** 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。

米倉 博史 *Hiroshi Yonekura*

(株)みずほ銀行 産業調査部公共・社会インフラ室 室長

パネリスト

**プロフィール** 1998年慶應義塾大学経済学部卒、日本興業銀行(現みずほ銀行)入社。主計部を経て、M&Aファイナンス営業部にて企業の各種M&Aに対するアドバイザー、ファイナンス業務に従事。その後、法人営業にて空運業界を担当。産業調査部にて、空運・海運業界の産業アナリストを経て、2017年4月より現職、観光分野等も担当。ミシガン大学MBA(2011年)。趣味：クリケット

原田 文代 *Fumiyo Harada*

(株)日本政策投資銀行 国際統括部 担当部長 兼 女性起業サポートセンター長

パネリスト

**プロフィール** 平成4年に入行後、地域開発プロジェクトや発展途上国等への技術支援、海外企業の対日投資、日本企業の対外インフラ投資等を担当した後、国際金融公社にて東アジアのインフラ整備に従事し、DBJシンガポール副社長を経て2015年2月より現職。海外中心に多様なバックグラウンドを持つ人材のマネジメントを経験し、種々の女性起業支援に携わるとともに、アジア関連ビジネスを担当。

五十嵐 浩也 *Hiroya Igarashi*

筑波大学教員(芸術系・教授)/ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長

コーディネーター

**プロフィール** GKインダストリアル・デザイン研究所、富士ゼロックスデザイン研究所を経て、筑波技術短期大学聴覚部デザイン学科、そののち現職。

第5回

12/1  
[土]

13:30~16:30



春AB 01ZZ515

## テクノロジーとグローバルで拓く未来



未来を拓いて行く為には、グローバルに考え・行動する事と、テクノロジーの活用（特にDisruptive Technology）が重要である。

世話教員

- 野村 港二（大学院共通科目委員長、生命環境系・教授）
- 坪内 孝司（教育企画室長、システム情報系・教授） ● 石田 東生（特命教授）

担当教員

高原 勇 *Isamu Takahara*筑波大学未来社会工学開発研究センター長 特命教授  
トヨタ自動車(株) BR-未来社会工学室 室長

**プロフィール** 1988年トヨタ自動車株式会社入社。クラウン・レクサスGSなど新型車両の設計開発を担当。グローバル開発、設計革新の全社リーダーを経て、BR-VI室長、VA開発部長、技術統括部主査を務めて現職に至る。現在は総合科学技術・イノベーション会議に係る内閣府協議会、経団連・産業競争力懇談会の委員として、次世代自動車交通基盤の研究内容を発信。筑波大学未来社会工学研究開発センター長及び特命教授を兼務。博士(社会工学)。

キーワード

自動運転、燃料電池自動車(FCV)、MaaS、Society5.0

第1回  
5/9  
【水】  
13:00~

筑波大学

## ●次世代自動車の技術革新と社会応用

前半は自動運転、燃料電池自動車、IoT車両情報に代表されるセンシング機能の技術革新について情報共有。後半はその社会応用として、産業競争力懇談会に提言した社会応用の提言策を分析しながら、グループワークによる自身の考えから社会像を描く演習を実施。

第2回  
6/13  
【水】  
13:00~

筑波大学

## ●次世代自動車交通基盤の技術革新と社会制度

前半は自動運転を契機とするデータ利活用の状況とIPCC世界気候変動政府間パネルに代表されるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを情報共有。後半は関係する研究論文をベースに必要な社会制度と新たな社会サービス創出について演習する。

第3回  
7/11  
【水】  
13:00~トヨタ自動車(株)  
都内関連施設

## ●講義のまとめと全体を通しての次世代自動車による自動車交通基盤に係るパネルディスカッション

第1回目、2回目等で講義した水素燃料電池自動車、パーソナルモビリティを体験することを通して、全3回の講義のまとめと全体を通しての次世代自動車による自動車交通基盤に係るパネルディスカッション形式で演習。



写真は昨年度までの授業風景です。



秋ABC 01ZZ513

## 流動化する世界とこれからの日本



混迷の度を深める世界の中で日本は？ 難局に立ち向かう皆さんの決心は？

世話教員

- 野村 港二 (大学院共通科目委員長、生命環境系・教授)
- 坪内 孝司 (教育企画室長、システム情報系・教授)
- 石田 東生 (特命教授)

担当教員

西原 茂 *Shigeru Nishihara* 筑波大学客員教授  
 双日(株)専務執行役員 経営企画、サステナビリティ推進、海外プロジェクト推進室担当 兼 CCO

**プロフィール** 1986年日商岩井(株)入社。双日(株)石炭部長、経営企画部長、経営企画・IR・広報・情報企画・物流保険の担当役員、営業管掌役員などを経て2017年10月より現職。愛媛県松山市出身。高校・大学時代はラグビー部に所属。会社のラグビー部にも入部したが、その後、路線を変えて山登りを開始。現在は、ゴルフやジョギング、禅寺での早朝座禅。また、なかなか参加できなくなっているが、10数年前から仲間と田んぼを借りての米作りを楽しんでいる。

講師

11/14 [水]

村井 宏人 *Hirotō Murai* 双日(株)執行役員 自動車本部長

**プロフィール** 1989年日商岩井(株)入社。双日(株)自動車第二部長、経営企画部長などを経て2016年4月より自動車本部長、2018年4月より現職。京都出身。学生時代は、中学から大学まで常に体育会水泳部に所属し水泳三昧の日々を過ごす。入社後、先進国から途上国まで50か国超を訪問。産業機械や自動車の輸出から事業会社の経営、M&Aまで様々な経験を重ねる。

パネリスト

12/5 [水]

橋本 政和 *Masakazu Hashimoto* 双日(株)執行役員 エネルギー・社会インフラ本部長

**プロフィール** 1990年日商岩井(株)入社。愛知県出身。入社後は物流部隊に配属され、初出張は2年目の西アフリカ。1000km超の行程を野宿しつつ輸送監督として走破。その後はロシア衛星通信網の構築、米国駐在中にはトヨタ生産方式の普及活動、2011年インフラ事業へ転身、鉄道や再生エネルギー事業に取り組んだ。環境・産業インフラ本部長を経て、2018年4月より現職。私生活では十数年ぶりに下手なゴルフを再開、人より多く歩き、走り回ること運動不足の解消中。

吉崎 達彦 *Tatsuhiko Yoshizaki* (株)双日総合研究所 チーフエコノミスト

**プロフィール** 富山県富山市生まれ。1984年一橋大学社会学部卒。日商岩井株式会社入社。米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て企業エコノミストに。『アメリカの論理』『気づいたら先頭に立っていた日本経済』(いずれも新潮新書)など著書多数。テレビ東京『モーニングサテライト』、BS-TBS『Biz Street』などでコメンテーターを務める。趣味は競馬。町内会では10年以上も防犯部長を務めている。

キーワード

- ・世界の動きを知り、日本の位置付けを認識し、これからの自らの生きる道を探る。
- ・社会の潮流に対する知見と分析力を積み上げていく契機とする。

第1回  
10/17  
[水]  
13:00~

筑波大学

- 自己紹介・予め配布されたアンケートに基づく発表と会話
- 講義「世界経済の変化における日本の産業論と商社活動」と全員参加による議論

第2回  
11/14  
[水]  
13:00~

筑波大学

- パネルディスカッション  
 テーマ①：「自動車業界を題材としたグローバルビジネスにおける日本企業の競争力の変遷と課題」  
 パネラー：村井 宏人 (双日(株) 執行役員 自動車本部長)  
 コーディネーター：西原 茂
- 事前に提起された課題と発表・議論

第3回  
12/5  
[水]  
13:00~

双日(株) 本社21階

- パネルディスカッション  
 テーマ②：「インフラビジネスにおけるビジネス構築の機能と課題」  
 パネラー：橋本 政和 (双日(株) 執行役員 エネルギー・社会インフラ本部長)  
 テーマ③：「日本企業の国際戦略と課題」  
 パネラー：吉崎 達彦 (双日総合研究所 チーフエコノミスト)  
 コーディネーター：西原 茂
- ラップアップ・セッション (ゼミ全体の振り返り)  
 (17:30 ~ 双日社内カフェテリアにてレセプションを開催予定)

# 学生の声 Student's Voice



理工学群 社会学類 1年次

武田 陸 Takeda Riku

出席学生  
の声  
Student's  
Voice 01

## 広い知見が得られる上に、モチベーションを高めることができる授業

私がこの講義を受講したきっかけは、リレー講義のパンフレットでこの講義の存在を知ったことです。様々な分野の最前線で働いている方の話を聞くことは、自分の将来についてより深く考えたり、現在ホットな分野についての話を聞いて考えたりする良いきっかけになると思い受講することに決めました。

実際に講義を受けて、様々な分野の実際の様子というものを知ることができただけでなく、その分野の最前線で働く方がどの

ような考えを持っているのかということを感じることができたことがこの講義を受けた上で得た1番大きなものだと思っています。それによって私の学生生活に対するモチベーションがとても高まりました。また、講義終了後に先生方と直接話ができる機会があることもこの講義の魅力だと思っています。

広い知見が得られる上に、モチベーションを高めることができるので皆さんもぜひ受講してください。

生命環境科学研究科 生物資源科学専攻 1年次

増田 浩太郎 Masuda Kotaro

出席学生  
の声  
Student's  
Voice 02

## 改めて将来を考える良いきっかけになり得る、密度の高い講義

世界を相手に日々戦っている方々の価値観に触れ、議論を交わすことができるチャンスだと考え、受講しました。変化の激しい時代において、現状を知り、未来を生き抜くために必要な考え方や知見を学ぶことができるため、どの分野・専攻の人も参加する意義があると思います。また講師の方々だけでなく、全く異なる

研究分野の学生との交流も魅力の一つだと感じました。

世界で戦う企業に求められる人間像を知り、自分がどのように関わるのか、所属する(かもしれない)企業・団体を如何に生き残らせ成長させていくのか。改めて将来を考える良いきっかけになり得る、密度の高い講義です。

システム情報工学研究科 社会学専攻 社会学学位プログラム 1年次

柳田 直生 Yanagita Naoki

出席学生  
の声  
Student's  
Voice 03

## この講義での経験により、リーダーになる素養を身に付けることができました

私は自分が理系の学生であるということから、この講義を受ける前まではとにかく専門を極めることが重要だと考えてきました。しかし、さまざまな問題が交錯し合う今後の社会を支えていくためには、文系理系に捕らわれずさまざまな知見を持つておくことがいかに重要であるかを講演や討論により学ぶことができました。今後はここでの経験を活かして、幅広い視野を持った社

会人になりたいと考えています。

日本のみならず世界でも活躍されているトップリーダーからご講演いただいたうえで、そのような方たちと議論できる機会というのは滅多に無いことだと思います。今後の日本、世界を引っ張っていきたいと考えている学生は是非受講してみてください。

生命環境科学研究科 地球科学専攻 1年次

岡崎 晴菜 Okazaki Haruna

出席学生  
の声  
Student's  
Voice 04

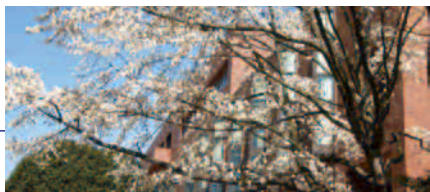
## ニュースや雑誌では聞くことのできない現場の声を聞くことができる機会

私は、筑波大学に大学院から入学し「今のグローバル化する日本の現状と自分が社会でどう働いていくか」という知見を得る授業が受けたいと思っていました。そこでパンフレットを読んだとき日本社会を牽引しているという過言ではないほどの講師の方々や講義内容に興味を持ち受講を決めました。

連続リレー講義の各回は全て今まで聞くことができなかった刺

激的なものでした。今まで「グローバル化」と聞いても曖昧なイメージしかありませんでしたが、講義を聞くことで世界の中での日本の立ち位置を知り、日本経済がどう世界と戦っていかなければならないかという危機感を感じることができました。ニュースや雑誌では聞くことのできない現場の声を聞くことができる、とても素晴らしい機会だったと思います。





情報学群 知識情報・図書館学類 1年次 **谷口 愛依** *Taniguchi Mei*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **05**

## 将来がまだ曖昧だなという方には、特におすすめします

私は、学びたいことや目標があまり明確ではないまま入学しました。自分はこの大学4年間で何を学び、何を考えて過ごすべきなのか。そういったことが少しでも見出せるのではないかと思い、受講しました。それぞれのプロフェッショナルによる講義を受け、日本の様々な分野の、現状、展望、課題をグローバルなつながりの中で捉えることが出来ました。どの分野でも、日本の中だけで満足しているのはもう時代遅れであり、常に世界に視点を向け、飛び出していかなければ確実に取り残される！そんな感覚が芽生えました。

文系・理系にとらわれない幅広い知識と教養、そしてそれを表現するコミュニケーション力。それが、広い世界の中で、これからの日本の中で必要とされる力。私が大学で身につけるべき力なのだ、と会得しました。

将来が明確な方はもちろん、まだ曖昧だなという方には、特におすすめします。

数理物質科学研究科 電子・物理工学専攻 1年次 **南家 健志** *Nanke Takeshi*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **06**

## 社会に対する視野を広げたいと思っているのであれば、この授業は必修科目です

皆さんは各方面の専門家・著名人が朝まで討論をする民法のテレビ番組を知っていますか？ジャーナリストである司会者を中心に政治家や評論家が、時の政治課題に対して自由闊達に議論する番組です。

そのような議論を試みたかった方に朗報です。JAPIC大学院アドバンス・ディスカッションコースは正にそのテレビ番組の学生版です。春学期は政治、秋学期はテクノロジーを題材にしてグローバル社会の未来について思い思いに議論していく授業です。

まず理系の大学院生にこのような授業はありませんし、文系の方にとっても理系の人の考え方が聞ける貴重な場になると思います。もし、皆さんが社会に対する視野を広げたいと思っているのであれば、この授業は必修科目です。

芸術専門学群 3年次 **武藤 有希乃** *Muto Yukino*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **07**

## 言葉だけでは曖昧なものへの具体的な知見を得ることができる貴重な講義

私はこれから就職活動を迎えるにあたって、社会というものに対する具体的なイメージを少しでも多角的に掴めればと思い、受講をさせて頂きました。

実際に、様々な分野でトップとして日本の社会を支えている方々のお話は未知なものかと思いきや、自分を取り巻く都市や環境にも直結するもので、今現在も沢山の人が我々の生活を支えているのだと実感したと共に、自分もまた社会の一員なのだ深く考えさせられました。

また、グローバルという本講義の一つのテーマに対しても様々な意見を伺うことができ、国内に留まっていた自分の視野を「世界の中の日本」として考えるきっかけにもなりました。

本講義で得た学びや認識は自分の視野を広げてくれたと同時に、自分がこれから進んでいく道の選択肢も増やしてくれました。社会やグローバルなど、言葉だけでは曖昧なものへの具体的な知見を得ることができる、とても貴重な講義であると思います。

# 学生の声 Student's Voice



医学群 看護学類 3年次 **椎葉 奈子** *Shiiba Nami*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **08**

## 本学だから学べるスゴイ授業

私は、助産師として6年間病院で勤務していました。専門性の高い仕事ですが、狭い範囲での知識や経験しかありませんでした。今後、行政機関での勤務を考え、現代社会のさまざまな課題に取り組むためには、視野を広げる必要があると考え、本学に編入しました。

社会基礎学の授業では、病院勤務では知り合うことの出来ない幅広いトッリーダーに魅力を感じ、春と秋の連続リレー講

義を受講しました。特に、官僚の講師陣からリアルタイムな国勢や国防について学ぶことで、より問題が身近になり、解決すべき課題が見えて来たと感じています。

本学だから学べるスゴイ授業で視野を広げ、教養を高めること。どんな仕事を選ぶにしても、受講者にとって未来を拓く「知の財産」となると 생각합니다。

体育専門学群 2年次 **岩満 史翔** *Iwamitsu Fumika*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **09**

## 物事の視野が広がります!!

私がこの講義を受講したきっかけはただの好奇心で、普段行われる大学の講義とは異なり、土曜日の午後に行われること、産業界・官界のトッリーダーによるオムニバス形式の講義という非日常的な講義に興味を持ったからです。

いざ受講してみると毎回毎回の講義内容が興味深く、普段では知ることのできない内容ばかりで視野を広げることができまし

た。私がそうであったように、体育専門学群という環境にいと、部活動に力を入れていて、ほかの分野へ視野を向けることが少ないと感じられます。体育専門学群に限らないことではありますが、物事の視野や考え方を広げたい学生は是非この講義を受講してみてください!

人間総合科学研究科 体育学専攻 2年次 **小泉 奈央** *Koizumi Nao*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **10**

## 課題解決について主体的に考えることができました

グローバル社会の最前線で活躍する講師から現代社会の重要な課題について、分かりやすく講義をしていただき、課題解決について主体的に考えることができました。講師からの経験も踏まえた上での問題提起は、普段メディアから得る情報よりも鮮明で、より立体的な実態として理解することができました。中でも少子化問題や女性活躍社会は大変興味のあるトピックでした。私自身7年間の勤務経験を経てから研究者を目指して大

学院に戻ってきており、実際に今、『社会での活躍』と『出産』という女性が受ける期待にギャップを感じていました。しかし、本講義を通して、自らが社会を作るプレーヤーの一員であり、今後の社会を作る担い手になれることも学ぶことができ、『家庭での活躍』も『仕事での活躍』も諦めることなく最大限挑戦し、女性活躍社会を牽引できるような人材になりたいと、自分なりの目標を得ることが出来ました。

人間学群 教育学類 3年次 **渋木 直大** *Shibuki Masahiro*

出席学生  
の声  
Student's  
Voice **11**

## 例え何を目指していようと、非常に価値のある時間になる

私はパンフレットで本講義を知り「グローバル人材に社会が求める教養」というフレーズに惹かれて、受講を決意しました。就職活動をしている身として、社会のことを知る機会を一つでも増やそうと考えていた中での出会いでした。通常の就職活動をしていても中々出会えないような役職の方が考える日本や世界の

状況、社会や制度などの在り方等々のお話をとても近くで拝聴でき、それが単位になるこの講義はとてもお得です。私自身は就職活動中の身でしたが、例え何を目指していようと、非常に価値のある時間になると 생각합니다。



## Faculty Member's Voice 教員の声

教員の声  
Faculty Member's Voice 01

### 知的でエキサイティングな土曜の午後

皆さん、知的でエキサイティングな土曜の午後を春日キャンパスで過ごしてみませんか?この講義は、産業界・官界で活躍されている社会人の方々から、現代社会が直面する諸問題に関するホットでリアルな話を、その方々の実体験を交えながら聴くことができるまたとない機会です。普段、新聞やテレビのニュースでしか見聞きすることができない問題に日々直接に接しておられる方々から、専門的な見地からの話が直に聞けるのです。学群の一年生

から大学院生、そして私の様な教員までもが聴講していますが、そのお話に皆が魅了されています。講師の先生方とのディスカッションの時間も豊富に用意されていますので、積極的に自分の意見を表明して議論に参加しませんか?教室でお会いしましょう!



(c)講談社写真部

教育企画室長  
システム情報系教授  
**坪内 孝司**  
Takashi Tsubouchi

教員の声  
Faculty Member's Voice 02



特命教授  
**石田 東生**  
Haruo Ishida

### 大学院 Advanced Discussion Course への誘い

大学院 Advanced Discussion Course は日立製作所・元副社長の岩田眞二郎教授と双日・顧問の田邊弘幸教授という業種は異なるけれどもともに海外経験豊かなビジネスリーダーお二人をお迎えし、日本が抱える課題、その中で若い力に期待するものを共に考え、意見を交換する場です。商社マンとしての世界経済の見方と国際感覚、そしてその中で日本の針路への洞察、技術系経営者としてのテクノロジーとイノベーションに向けた熱意は

私自身にとってもワクワクするものです。課題も多く出され少し大変かもしれませんが、それは自らの考えを深め、分かりやすく説明するという現代人にとっての必須のスキルの涵養に有効です。またお二人の広い交友関係から多彩なゲストスピーカーの話の聞けることも大きな魅力です。自分を鍛え、さらに成長するため、そしてクラスを共に作り上げるために教室にいらっしゃいませんか。

教員の声  
Faculty Member's Voice 03

### 大学院共通科目、特にアドバンスト・ディスカッションコースでリーダーになるトレーニングを

大学院修了者が社会の需要に的確に応えるためには、大学院で身につける学問や実務における高い専門能力とともに、豊かで逞しい人間力が必要になります。本学では、知識の教授に偏らない大学院教育を実現するため、コミュニケーション能力や高い倫理感、グローバル社会の中にあって本質を考えぬく力、キャリアについて考える力などを修得するために、大学院共通科目を開設しています。アド

バンスト・ディスカッションコースは、企業トップとして世界をリードしてきた講師が、現実とどう向き合い、将来をどう見据えてきたか、いつどのような決断をしてきたかなど、知識とスキルの使い方を実践的に身につけられる講義です。大学院共通科目、特にアドバンスト・ディスカッションコースでリーダーになるトレーニングを始めてください。



大学院共通科目委員長  
生命環境系教授  
**野村 港二**  
Koji Nomura

# 世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

総合科目 I <b>春AB</b> 社会基礎学 グローバル人材に不可欠な教養 I オーガナイザー 野村 港二	<b>第1回</b> <b>4/21</b> [土] 13:00~16:40	<b>[導入講義 I] 筑波大学におけるグローバル人材育成方針</b> 徳永 保・坪内 孝司 <b>[導入講義 II] 連続リレー講義の意味・意義と狙い</b> 三浦 潔司 <b>[パネルディスカッション] [第1部]</b> <b>グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?</b> <b>[パネルディスカッション] [第2部]</b> <b>学生は何を学び、何を身に付けるべきか?</b> 吉村 麻央・中村 宏之 三浦 潔司・徳永 保 坪内 孝司
	<b>第2回</b> <b>5/19</b> [土] 14:00~17:00	<b>グローバル化とは何か~ Society 5.0, SDGs, そして統合イノベーション戦略を事例に</b> 進藤 秀夫 <b>地球温暖化・エネルギー問題に関して</b> 丸川 裕之
	<b>第3回</b> <b>6/2</b> [土] 13:30~16:30	<b>途上国・新興国に対する日本の開発協力 ~地方発の双方向国際貢献の可能性</b> 江島 真也 <b>人口減少先進地域における政策展開</b> 和泉 晶裕
	<b>第4回</b> <b>6/16</b> [土] 13:30~16:30	<b>総合商社のビジネスモデルと人材育成</b> 島崎 豊 <b>日本経済を読み解く「鍵」</b> 岡部 央
	<b>第5回</b> <b>6/23</b> [土] 13:30~16:30	<b>国際関係の新たな変容相と産業界の対応</b> — 国内への影響をどう捉え創造的対応を試みるか — 太田 誠 <b>第4次産業革命とロボット・ドローン</b> ~ connected industries の実現による society5.0 の確立に向けて~ 片岡 隆一
総合科目 III <b>秋AB</b> 社会基礎学 グローバル人材に社会が求める教養 オーガナイザー 五十嵐 浩也	<b>第1回</b> <b>10/6</b> [土] 13:30~16:30	<b>[導入講義] 連続リレー講義の意味・意義と狙い</b> 三浦 潔司 <b>[パネルディスカッション] [第1部]</b> <b>グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?</b> <b>[パネルディスカッション] [第2部]</b> <b>学生は何を学び、何を身に付けるべきか?</b> 石川 貴之・平石 和昭 中原 淳・三浦 潔司
	<b>第2回</b> <b>10/13</b> [土] 13:30~16:30	<b>第一次産業を通じた成長戦略</b> 末松 広行 <b>さいはての地域経営</b> 泉谷 満寿裕
	<b>第3回</b> <b>10/27</b> [土] 13:30~16:30	<b>日本外交の現状と課題</b> 森 健良 <b>企業経営の現状・課題と戦略</b> 右田 彰雄
	<b>第4回</b> <b>11/24</b> [土] 13:30~16:30	<b>サービス産業等の生産性向上について</b> 守山 宏道 <b>日本を取り巻く安全保障環境と防衛政策</b> 市川 道夫
	<b>第5回</b> <b>12/1</b> [土] 13:30~16:30	<b>地方自治の重要性とは何か?</b> 森 民夫 <b>[パネルディスカッション]</b> <b>社会資本整備と構造改革から見た我が国の成長戦略</b> 森 民夫・中原 淳 平石 和昭



# 世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ディスカッションコース

<p><b>春ABC</b></p> <p>テクノロジーと グローバルで拓く未来</p> <p>担当教員 高原 勇</p>	<p>第1回 <b>5/9</b> [水] 13:00~</p>	次世代自動車の技術革新と社会応用	高原 勇
	<p>第2回 <b>6/13</b> [水] 13:00~</p>	次世代自動車交通基盤の技術革新と社会制度	高原 勇
	<p>第3回 <b>7/11</b> [水] 13:00~</p>	講義のまとめと全体を通しての次世代自動車による 自動車交通基盤に係るパネルディスカッション	高原 勇 他
<p><b>秋AB</b></p> <p>激動化する世界とこれからの日本</p> <p>担当教員 西原 茂</p>	<p>第1回 <b>10/17</b> [水] 13:00~</p>	自己紹介・予め配布されたアンケートに基づく発表と会話 ----- 講義「世界経済の変化における日本の 産業論と商社活動」と全員参加による議論	西原 茂
	<p>第2回 <b>11/14</b> [水] 13:00~</p>	パネルディスカッション テーマ①:「自動車業界を題材としたグローバルビジネスにおける 日本企業の競争力の変遷と課題」 ----- 事前に提起された課題と発表・議論	西原 茂 村井 宏人
	<p>第3回 <b>12/5</b> [水] 13:00~</p>	パネルディスカッション テーマ②:「インフラビジネスにおけるビジネス構築の機能と課題」 パネルディスカッション テーマ③:「日本企業の国際戦略と課題」 ----- ラップアップ・セッション	西原 茂 橋本 政和 吉崎 達彦

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる  
連続リレー講義

総合科目 I・III

大学院共通科目

2018

世界に挑む産業界トップリーダーによる  
大学院アドバンスト・ディスカッションコース



筑波大学  
University of Tsukuba